

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成20年度 文部科学大臣賞 受賞	受賞者名	箕輪町立箕輪中部小学校
	所在地	長野県上伊那郡
	受賞テーマ	節電・節水・リサイクルを心がけ地球を守ろう
	1. 活動継続 あり	<ul style="list-style-type: none">・ 不必要な電気はこまめに消す。環境・省エネ委員会が休み時間に巡視やプラカードを使った呼びかけ（エコパトロール）・ 冬季（12月～3月）の清掃用の水は、太陽熱を利用して黒く塗ったペットボトルに水を入れて温め、清掃の水に利用する。
2. 活動の広がり なし		
3. 活動の進化 なし		
4. 今後の計画	<ul style="list-style-type: none">・ エコパトロール、太陽熱を利用したペットボトルのお湯の利用は継続して続けていく方向。・ 新たに、環境エコ委員の活動の一つとして、新聞エコバックを作り、地域の図書館やお店などに置いて活用していく取り組みを行いたいと考えている。	

（次頁に表彰概要掲載）

【表彰概要】

文部科学大臣賞

受賞者名

箕輪町立箕輪中部小学校

所在地

長野県上伊那郡

受賞テーマ

節電・節水・リサイクルを心がけ地球を守ろう

- 全校で省エネ活動（児童会の環境・省エネ委員会が中心に取り組む）
 - ・ unnecessary電気はこまめに消す。環境・省エネ委員会が休み時間に巡視やプラカードを使った呼びかけ（エコパトロール）。
 - ・ 清掃用のバケツの水は、雨水タンクの水を利用（学校敷地内に2カ所設置済み、合計ドラム缶4本分）。
 - ・ 冬季（12月～3月）の清掃用の水は、太陽熱を利用して、黒く塗ったペットボトルを水で温め、清掃の水に利用する（最高温度は70℃になる）。
 - ・ 環境・省エネ委員会が、省エネナビで電気消費量を計測調査し、節電について全校の意識を高める。
 - ・ 環境・省エネ委員会が、地球温暖化の問題と自分たちにできることについて訴える（全校集会で発表・写真提示等）。
- 生ゴミ・糞の有効利用
 - ・ 調理室のゴミを使い、コンポストで花壇等の堆肥作り。
 - ・ 処理に困っていたヤギ（4年の学級が飼育）の糞を使って、畑の堆肥作り。
- 廃油を使った石けん作り（4年の学級）

廃油を使った石けん作りをし、販売活動や施設へのプレゼントを行うことによって、児童自ら環境問題への関心を高めるとともに、周りへも意識を広げる。
- キッズISOの取り組み（主に6年）

セイコーエプソンの協力を得て、キッズISOの入門編・初級編に取り組む。自分自身で計画を立て、家族で取り組み、結果の分析をしながら次の方法を考える。
- 空きびん・アルミ缶回収活動
PTA・児童会・学校職員が回収活動。（平成19年度収益279,925円）



環境・省エネ委員会の子どもたちによる
地球温暖化がどうして起きるのかについての発表（全校集会）